



連載

次代の農業を担う 21

栃木県農業大学校生のチャレンジ

農業の楽しさを伝えたい！

私の家は大田原市で水稻・麦を中心に農業経営を行っています。幼い頃から、土や作物・農業機械に触れながら祖父の農業を手伝う中で、将来は私も農業をしたいと決心しました。

現在、耕作放棄地の増加や農業従事者の減少が問題とされています。そこで、今後も持続可能な農業にするために、これからの若い世代の人達に農業の楽しさを知ってもらえれば農業を職業にする人が増えるのではないかと考え、様々な活動に取り組んでいます。



私は農業のボランティア団体を立ち上げ、離農による耕作放棄地を防ぐことを目的に、農家の支援活動として農作業の手伝いなどに取り組んでいます。耕作放棄地の草刈りや高齢の方の田植えなどの農作業を代行しています。また、小中学生や高校生を対象に、収穫体験や農業機械の安全講習会などを行い、農業の楽しさを知ってもらう活動をしています。

さらに、私は農業の楽しさを伝えるための活動として YouTube を活用した動画配信を行っています。

す。農産物の生産現場や工程を自分で撮影し、視聴者に楽しそうに作業を行う姿を見てもらうことで、農業の楽しさを伝えていきます。動画配信を通じて、県外の農業生産者と生産技術や撮影方法などの情報交換もしており、お互いの技術を高め合ったりしています。

今後は、さらに農業の魅力を伝えていくため、地域の方と連携した活動をするともに、より多くの人に動画を視聴してもらえよう、さらなる動画技術を向上させ、農業の魅力や楽しさを表現できる農業経営者になりたいと思います。

(農業経営学科 阿久津清尚)

